

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2002-95014 (P2002-95014A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 29 日 (2002.3.29)
 【出願番号】特願 2000-275303 (P2000-275303)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 13/02 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

H 0 4 N 13/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 13/02

G 0 9 G 5/36 5 1 0 V

H 0 4 N 13/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 10 日 (2007.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ディスプレイ上の左目用画像と右目用画像を合わせた左右一対のステレオ画像を正規の観察位置である適視位置で正常に観察可能なステレオ画像表示装置であって、

前記適視位置から前記ディスプレイを観察した場合と前記適視位置以外の位置から前記ディスプレイを観察した場合とで見え方が異なる適視位置確認用画像を、外部入力に基づき前記ディスプレイに表示する表示制御手段を有することを特徴とするステレオ画像表示装置。

【請求項 2】 前記適視位置確認用画像の表示位置或いは表示範囲或いは表示色を含む表示方法を設定する第一の入力手段を有することを特徴とする請求項 1 記載のステレオ画像表示装置。

【請求項 3】 前記表示制御手段は、前記ディスプレイにステレオ画像が表示されていない場合は前記適視位置確認用画像をステレオ画像表示領域全体に表示し、前記ディスプレイにステレオ画像が表示されている場合は前記適視位置確認用画像をステレオ画像表示領域の一部に表示することを特徴とする請求項 1 記載のステレオ画像表示装置。

【請求項 4】 前記ステレオ画像表示領域の一部に表示される前記適視位置確認用画像の表示位置或いは表示範囲或いは表示色を含む表示方法を設定する第二の入力手段を有することを特徴とする請求項 3 記載のステレオ画像表示装置。

【請求項 5】 ディスプレイ上の左目用画像と右目用画像を合わせた左右一対のステレオ画像を正規の観察位置である適視位置で正常に観察可能なステレオ画像表示装置に適用されるステレオ画像表示方法であって、

前記適視位置から前記ディスプレイを観察した場合と前記適視位置以外の位置から前記ディスプレイを観察した場合とで見え方が異なる適視位置確認用画像を、外部入力に基づき前記ディスプレイに表示する表示制御工程を有することを特徴とするステレオ画像表示方法。

【請求項 6】 前記適視位置確認用画像の表示位置或いは表示範囲或いは表示色を含む表示方法を設定する第一の入力工程を有することを特徴とする請求項 5 記載のステレオ

画像表示方法。

【請求項 7】 前記表示制御工程では、前記ディスプレイにステレオ画像が表示されていない場合は前記適視位置確認用画像をステレオ画像表示領域全体に表示し、前記ディスプレイにステレオ画像が表示されている場合は前記適視位置確認用画像をステレオ画像表示領域の一部に表示することを特徴とする請求項 5 記載のステレオ画像表示方法。

【請求項 8】 前記ステレオ画像表示領域の一部に表示される前記適視位置確認用画像の表示位置或いは表示範囲或いは表示色を含む表示方法を設定する第二の入力工程を有することを特徴とする請求項 7 記載のステレオ画像表示方法。

【請求項 9】 請求項 5 乃至 8 のいずれかに記載されたステレオ画像表示方法を実行するプログラムを記憶したコンピュータにより読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明は、ディスプレイ上の左目用画像と右目用画像を合わせた左右一対のステレオ画像を正規の観察位置である適視位置で正常に観察可能なステレオ画像表示装置であって、前記適視位置から前記ディスプレイを観察した場合と前記適視位置以外の位置から前記ディスプレイを観察した場合とで見え方が異なる適視位置確認用画像を、外部入力に基づき前記ディスプレイに表示する表示制御手段を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 4 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 4 5】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、ディスプレイ上の左目用画像と右目用画像を合わせた左右一対のステレオ画像を正規の観察位置である適視位置で正常に観察可能なステレオ画像表示装置において、適視位置からディスプレイを観察した場合と適視位置以外の位置からディスプレイを観察した場合とで見え方が異なる適視位置確認用画像を、外部入力に基づきディスプレイに表示する制御を行うため、即ち、ユーザの操作に従ってディスプレイに適視位置確認用画像を表示することにより、どのような方式の３Ｄディスプレイにおいても、ユーザがいつでも希望したときに適視位置の確認ができるようになるという効果を奏する。

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 4 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 4 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】